

第49回 ふじみ衛生組合地元協議会 会議録

- 1 開催日時 平成29年1月31日(火)18時30分から19時30分まで
- 2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 3 委員出欠 出席 22人(欠席者7人)
出席委員 小林義明(会長)、嶋田一夫(副会長)、石坂卓也、岩元義文、小松日出雄
島田猛、鈴木和夫、武谷宏二、田中一枝、牧野隆男、増田雅則、安方二郎
山添登、山田知英美、吉野勇
井上稔(副会長)、荻原正樹、深沢典充、宮崎治、小垣外孝、
大野憲一、柏原公毅
- 4 出席者 小金井市(柿崎環境部長、藤田ごみ処理施設担当課長)
事務局 今村好一、岩崎誠、大堀和彦、中村和正
エコサービスふじみ株式会社 望月博文
パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉留雅俊
- 5 傍聴者 1人
- 6 次第
 - 1 開会
 - 2 報告事項
 - (1) 第48回ふじみ衛生組合地元協議会議事録要旨について
 - (2) 小金井市の可燃ごみ処理の支援状況について
 - (3) 施設の運転結果について
 - ① ごみ搬入・灰等搬出(平成28年4月～平成28年12月)について
 - ② 平成28年度環境測定結果(平成28年4月～平成28年12月)について
 - (4) 第4回ふじみまつり報告について
 - (5) 水銀対策について
 - (6) 平成28年度ごみ処理相互支援結果について
 - 3 協議事項
 - (1) 平成29年度 地元協議会スケジュール(案)について
 - (2) 第5回ふじみまつりについて
 - (3) 平成29年6月(予定)施設見学候補地について
 - 4 その他
 - (1) 次回日程
 - (2) その他
 - 5 閉会

【配布資料】

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 【資料1】 | 第48回ふじみ衛生組合地元協議会議事録(要旨) |
| 【資料2】 | 小金井市可燃ごみ処理の支援状況について |
| 【資料3-1】 | ごみ搬入・灰等搬出結果(平成28年4月～平成28年12月) |
| 【資料3-2】 | 平成28年度環境測定結果(平成28年4月～平成28年12月) |
| 【資料4】 | 第4回ふじみまつり報告 |
| 【資料5】 | 水銀対策について |
| 【資料6】 | 平成28年度ごみ処理相互支援結果 |
| 【資料7】 | 平成29年度 地元協議会スケジュール(案) |
| 【資料8】 | 平成29年度施設見学候補施設(案)資料 |
| 【資料9】 | 地元協議会委員名簿(平成28年12月21日現在) |

第49回 ふじみ衛生組合地元協議会 会議録

—18時30分開会—

事務局 : それでは、定刻になりましたので、第49回ふじみ衛生組合地元協議会を開催いたします。

皆様には、お忙しいところ、ご出席をいただきましてありがとうございます。

本日は、小金井市の柿崎環境部長、藤田ごみ処理施設担当課長がお見えになっております。後ほど、小金井市のごみ処理広域支援要請の状況について説明をいただく予定です。

(資料確認)

それでは、これから議事進行は会長にお願いいたします。

会長 : 皆様、こんばんは。本日は寒い中、ご出席をいただきましてありがとうございます。

本日、22名の委員の皆様、ご出席をいただいておりますので、会議は有効に成立いたします。

ここで、新委員をご紹介させていただきます。東部地区住民協議会の〇〇委員が辞任されまして、今度は東部地区住民協議会、S委員でございます。

S委員 : Sでございます。よろしく申し上げます。

会長 : どうぞよろしく申し上げます。

それでは、次第に従いまして、報告事項1番目の第48回ふじみ衛生組合地元協議会議事録要旨について。皆様、もう目を通しておられると思いますが、何かございますか。よろしいですか。

「異議なし」と言う者あり。

会長 : ありがとうございます。

それでは、事務局から公開の手続きをお願いいたします。

それでは、報告事項2番目の小金井市の可燃ごみ処理の支援状況について、本日、小金井市の職員の方がお見えになっておりますので、柿崎環境部長、藤田ごみ処理施設担当課長がお見えでございますので、説明をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

小金井市柿崎環境部長 :

本日は、ふじみ衛生組合地元協議会への出席をお許しいただきまして、誠にありがとうございます。私は、小金井市環境部長の柿崎と申します。

どうぞよろしく申し上げます。

平素より小金井市の清掃行政に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、小金井市では、平成19年3月末に、老朽化に伴い、調布市、府中市、小金井市で構成していた旧二枚橋衛生組合ごみ焼却場の全焼却炉の運転を停止したことから、平成19年4月より、市内から発生する可燃ごみの全量を多摩地域の各団体の焼却施設で処理していただいております。三鷹市におかれましても、平成21、23、24年度にごみ処理の支援をお願いさせていただきました。改めて施設周辺にお住まいの皆様並びに関係者の皆様のご理解、ご協力に心より御礼を申し上げます。

一方、安定的な可燃ごみ処理体制の確立に向けては、平成24年4月に、当時の日野市長に可燃ごみの共同処理を申し入れてから、日野市、国分寺市及び小金井市の3市において協議を重ねてまいりました。その結果、平成27年7月には、新可燃ごみ処理施設の設置及び運営等を共同して行うことを目的とした一部事務組合であります浅川清流環境組合を設立することができました。現在、同組合では、平成32年度からの新可燃ごみ処理施設の本格稼働を目指して鋭意事業を進めております。

このような状況のもと、甚だ恐縮ではございますが、ふじみ衛生組合におかれましては、新可燃ごみ処理施設の稼働を開始するまでの間、平成29年度から平成31年度までの3年間、ごみ処理の支援をお願いさせていただきたく、特段のご配慮を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

なお、配付資料につきましては、担当課長よりご説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

小金井市藤田ごみ処理施設担当課長：

それでは、本日配付させていただきました資料について説明をさせていただきます。私は、小金井市環境部ごみ処理施設担当課長の藤田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、資料21ページ、資料2、小金井市可燃ごみ処理の支援状況をご覧ください。先ほど環境部長から挨拶させていただいたとおり、平成19年3月末に、施設の老朽化に伴い、調布市、府中市、小金井市で構成しておりました旧二枚橋衛生組合ごみ焼却場の全焼却炉の運転を停止したことから、小金井市では平成19年4月から今日に至るまで、市内から発生する可燃ごみの全量を多摩地域の各団体の焼却施設で処理していただいております。三鷹市におかれましても、平成21、23、24年度に処理をお願いさせていただきました。このことは施設周辺にお住まいの皆様並びに関係者の皆様のご理解、ご協力による賜物でございます。改めて心より御礼を申し上げます。

さて、直近となります平成28年度の支援状況については、資料にもございますとおり、第2ブロックだけではなく、第1ブロックや第3ブロックの計4団体にその処理をお願いしております。平成29年度以降につきましては、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱に基づき、第2ブ

ロックのふじみ衛生組合に、新可燃ごみ処理施設の稼働するまでの平成29年度から平成31年度までの間、可燃ごみ処理の支援をお願いさせていただきたく、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、小金井市では、施設周辺にお住まいの皆様並びに関係者の皆様のご負担を少しでも軽減させていただくため、さらなるごみの減量、資源化の推進に取り組んでまいります。

続きまして、裏面の資料、浅川清流環境組合新可燃ごみ処理施設整備・運営事業についてをご覧ください。こちらの資料は、日野市、国分寺市、小金井市で、新可燃ごみ処理施設の整備・運営を行うことを目的として設立いたしました浅川清流環境組合が行っております事業概要及び今後のスケジュールの資料でございます。

新しい施設の概要は、処理能力が日量約228トンで、処理方式につきましてはストーカ炉でございます。同組合の現状は、新しい施設の整備・運営を行う事業者との契約が終了しており、平成32年度の新施設本格稼働を目指し、施設の設計を行っているところでございます。

以上で資料の説明は終了させていただきます。どうもありがとうございます。

会長 : 何か質問、意見等ございませんか。

私ども地元協議会、大変厳しい決断をさせていただきました。やはり自分たちの焼却炉が使えなくなったらどうするかという、そんなことを思いながら決断をさせていただいたわけですから、小金井市議会、市も、市民も、そのことを重く受け止めていただき、こういうことがないようにならなければと思います。よろしくお願いします。

よろしいですか。他にありませんか。

会長 : それでは、報告事項の3番目、施設の運転結果について、お願いします。

H委員 : ごみ搬入・灰等の搬出についてご報告申し上げます。

資料23ページをお願いします。平成28年度4月から12月のクリーンプラザふじみ、まず、可燃ごみの搬入実績でございます。三鷹市が2万1,664.46トン、前年度比が84.7トンの減です。調布市が2万5,444.42トン、前年度比128.60トンの増です。リサイクルセンターの可燃性残渣、5,616.59トン、1.27トンの減です。武蔵野市の相互支援によるものが599.62トンで、前年度比5.33トンの増です。合計5万3,325.09トン、前年度比が47.96トンの増です。全体的には微増ですが、傾向として、これまでと同様、調布市の事業系の持ち込みごみの増加によりまして、調布市の前年度比が多くなっている。全体にもこれが影響しているというのが状況でございます。

続きまして、搬出の実績で、下の表をお願いします。焼却灰が、平成28年度が4,200.93トン、前年度比が78.09トンの増加です。焼却の飛灰

が1,227.61トン、前年度比55.53トンの減額。鉄分が124.17トンで、前年度比19.34トンの減で、焼却量は4万8,514.95トン、前年度比151.86トンの増です。発電は2万4,604.29メガワットアワーで、前年度比60.75メガワットアワーの増です。売電量は1万7,581.51メガワットアワーで、前年度比が203.65メガワットアワーの減となっております。

特徴としまして、発電量が前年度比より増となっておりますが、売電がマイナスとなっております。平成28年度はクリーンプラザふじみの自己消費となる電気量が多かったということがございます。主に9月に2炉稼働が前年と比べて多くありまして、4月から12月分の全体でいいますと、2炉稼働をした日程が9日間多かったということ、その分、電気量がかかったと分析をしているところがございます。また、月別の表につきまして6月と12月の量が少ないものにつきましては、点検などによりまして全炉停止をしたためでございます。

可燃ごみにつきましては以上となります。

続いて、24ページをお願いします。リサイクルセンターの4月から12月の集計でございます。まず、三鷹市が6,943.86トンで、前年度比では65.81トンの減です。調布市が6,792.93トン、前年度比が83.56トンの増となっております。合計では1万3,736.79トン、前年度比17.75トンの増となっております。三鷹市は微減ですが、調布市は83.56トンの増という状態となっております。

これは、粗大ごみを見ていただきますと、平成28年度が244.57トン、27年度が117.76トンで、粗大ごみの差が主な増の内容でございます。処理方式を一部変更した関係で、不燃性粗大ごみは増えているところですが、一方可燃性粗大ごみが、同量分ぐらいが減っている状況です。粗大ごみの総体は同じぐらいの量でございますので、あくまでも処理方式によるものと考えています。

また、一番下の表で、不燃ごみは平成28年度が、約178トン減っています。これまでと同様の傾向でして、品質の軽量化などによるものと捉えています。

続きまして、25ページをお願いします。リサイクルセンターの搬出でございます。上の表は有償・無償で搬出したものでございます。下の表につきまして、逆に逆有償で資源物を搬出したものと、クリーンプラザふじみで熱回収をしたものの表となっております。総合計は1万2,954.82トンで、前年度比218.21トンの減となっております。

主なところは、上の表の左から5番目のB鉄（粗大ごみ）と書いてありますのは、粗大ごみや不燃ごみから出た鉄類のものとなります。

主に不燃ごみが平成28年度は少なくなっているということもありまして、これに連動しまして、B鉄も約111トン減となっているものと考えます。逆有償、熱回収の量ともにほぼ横ばいという状況でございます。

ごみの搬入・灰等の搬出の報告については以上でございます。

会長 : 何か質問ございますか。よろしいですか。

先ほどH委員と話をしまして、リサイクル施設を見た方は分かると思いますが、選別の時にビニール袋を破いてこう飛ばすんですね。そして、落ちたほうがリサイクルに回る。

H委員 : はい、そうです。

会長 : つまり、私、いつもお菓子などの袋のビニールを出すのに縛っていました。そのほうがコンパクトになるので。そうすると、下に残って、飛んでいかないのです。飛んでいかないとリサイクルに回っていかない。仕分けの中で、リサイクルセンターで。だから、縛って重くするとだめだということです。分かりますか。

O委員 : それを回収するといったら大変でしょう。散らばってしまうのではないですか。

会長 : お願いします、その説明。

H委員 : プラスチックごみで出されたものは、一旦、収集袋は機械によって破られまして、そうすると中身だけが出ます。プラスチックの中身がベルトコンベアーで流れてきますが、まず、異物、入っちゃいけないものを取り除きます。本来であれば、リサイクルされるプラスチックがそのまま最終地点に行き着きまして、それを搬出して、リサイクル業者がリサイクルするのが普通だと思うのですが、ふじみ衛生組合のリサイクルセンターの場合はいろいろ事情がありまして、リサイクルできるものを途中で1回、2階へ落とすんですね。そして2階のコンベアーの最終地点に行き着いたプラスチックがリサイクルされるものになっております。

少し複雑ですけれども、実は、リサイクルセンターは不燃ごみとプラスチックごみの処理を同じラインを時間によって分けてやっています。

不燃ごみは、鉄とアルミなどを機械で取って、リサイクルに出します。最後に残った資源とならないものをこちらのクリーンプラザふじみで焼却、熱回収をしています。不燃ごみについては、最終地点のものがこちらに来て熱回収するのですが、プラスチックは、リサイクルできるものを途中で降ろして、残ったものがクリーンプラザふじみで焼却処理するものになります。そのため、不燃ごみと同じように処理するには、資源になるものを途中で取り除かなければいけないのです。分かりにくくて、申し訳ありません。

I委員 : ふじみ衛生組合の場合には、リサイクルできる、いいプラスチックを手で選別しています。ですから、ごみ袋にプラスチックを入れて縛っていただくのは構いません。それは機械が袋を破いてくれますから。ところが、外側の袋を破いたにもかかわらず、また中側に例えばレジ袋で入れてあると、その袋は破けないので、そういった出し方は控えていただきたいという趣旨でございます。

二重、三重になっていると中の袋が破けずに下に沈んでしまうので、リサイクルできませんということです。

「了解」と言う声あり。

会長 : 何かあります。大丈夫ですか。

それでは、次に、環境測定結果、L委員、お願いします。

L委員 : それでは、26ページをお願いいたします。環境測定結果でございます。

まず、上の段ですが、前回は10月25日に開催されておりましたので、それ以降のご案内となります。まず、一番上ですが、11月17日から12月24日が1号炉、12月1日から12月26日までが2号炉でそれぞれ年次点検が行われていまして、炉を止めていた状況でございます。

続きまして、排ガス測定ですが、10月の2号炉は、定期点検があったところから今回測定はできずに、1号炉のみの測定となっています。ばいじんは0.001g/m³N未満でございます。いおう酸化物は1.1ppm、窒素酸化物は30ppm、塩化水素は0.3ppmとなっております。水銀は0.004mg/m³N未満でして、一酸化炭素は4ppmでございます。排ガス中の鉛、カドミウム、亜鉛はそれぞれ0.004mg/m³N未満でございます。

それから、騒音・振動・臭気・排水の測定ですが、臭気指数の11月のみが測定で、10未満でございます。

いずれも基準値以下となっています。

次の周辺大気の測定ですが、今回、測定の対象期間になっておりませんので、次の30ページに表を出していますけれども、今回の測定結果は含まれておりません。明日以降、測ることになっておりますので、また結果が分かりしだい、皆様にお知らせいたします。

続きまして、放射能に関する測定でございます。9月から12月までのご報告ですが、9月の焼却灰は18Bq/kgが一番大きな数値になっており、飛灰は11月の113Bq/kgが一番大きな数値となっております。排ガス、排水は不検出でして、いずれも基準値以下でございます。

空間放射線量率でございますが、11月から1月までですと、1月の地上5センチの大型バス駐車場の第2回、これが0.09μSv/hで大きな値になってございます。いずれも、基準を満たしていまして、前年同期と比べてもほぼ同様か、それ以下でございます。

次のページですが、それぞれグラフ化されておりますが、こちらは後ほど、参考までにご覧いただければと思っております。

会長 : 質問、ありますか。

先に進みます。第4回ふじみまつり報告について、I委員、お願いします。

I委員 : それでは、第4回ふじみまつりの報告です。資料4をご覧ください。31ページになります。皆様のご協力をいただきまして、第4回ふじみまつり、晴天にも恵まれ、また、風も弱く、非常に暖かい気候の中、行わ

れました。ありがとうございました。

それでは、報告をさせていただきます。「1 実行委員会等開催経過」です。4回の実行委員会並びに全体会を1回開催したところでございます。そして、12月20日に報告会を実施しました。

「2の実行委員」でございますけれども、三鷹市から会長さん、〇〇さん、Aさん、調布市から〇〇さん、Jさん、Cさん、Gさんに実行委員として参加していただきました。

続きまして、広報活動でございますが、横断幕、のぼり旗、広報ふじみ衛生組合、広報みたか、市報ちょうふ、ふじみ衛生組合のホームページ、三調だより、ポスター、チラシで広報をさせていただきました。

続きまして、32ページに移ります。「4の参加者数」でございますが、4回行いましたが、過去最高の人数で2,082名の参加をいただいたところでございます。第1回目の平成25年度が1,153人、2回目の平成26年度が1,596人、3回目の平成27年度が2,034人で、今回の2,082名というのが過去最高でございます。

テントブース及び施設内コーナーの出店協力団体は27団体でございます。アンケート調査については353名の方からご回答をいただいたところでございますが、三鷹市民が一番多かったということで230名、調布市民が115名、その他8名です。そのほか、スポーツGOMI拾い大会、そば打ち体験教室、親子探検隊、スタンプラリー、エコワークショップ、ごみクレーンシミュレータ体験、おもちゃの病院、リサイクル品販売、ボトルアクアリウム、射的コーナー、チッパー車展示・実演、はしご車体験試乗等々を行ったところでございます。

協力団体は、地元協議会の皆様をはじめとして、三鷹市連雀住民協議会、ふじみ地区自治会等連合会、なかま・町づくり、タスクネット東京、北ノ台まちづくりネットワーク等々の皆様のご協力をいただいたところでございます。

6番のその他でございますが、ポップコーン、ふうせん、JAXAグッズについて、それぞれ売り上げがございましたので、三鷹市、調布市両市の社会福祉協議会へ寄附をさせていただいたところでございます。

会長 : 何か質問ございますか。

年々、来場者は増えておりまして、にぎやかなお祭りになっております。実行委員やりたいなという人、いませんか。

それでは続きまして、水銀対策について、I委員お願いします。

I委員 : それでは、水銀対策について、資料5、33ページをお開きいただきたいと思えます。

水銀条約の発効に向けまして、大気汚染防止法の一部を改正する法律が平成30年4月1日から施行されます。今、その法律の施行に間に合うように、各社いろいろ技術開発をしているところでございまして、クリ

ープラザふじみのプラントメーカーでございます J F E エンジニアリングにおきましても、水銀除去の新システムを開発したというところでございます。

どこが今までと違うのかということで、下に図が描いてございます。

上の段が従来の方法、クリーンプラザふじみでも採用している方法でして、煙突のところで水銀を測定いたしまして、その水銀濃度が上がったというタイミングでバグフィルターの前に活性炭を吹き込むこととなりますので、どうしてもタイムラグが生じるということがございました。新しいシステムですが、水銀計を新たにバグフィルターの前に付けまして、その排ガスの水銀濃度が上がった瞬間に活性炭を吹き込む手法となりますので、タイムラグが生じないで、非常に効果が高いと言われております。

以前、B 委員から、バグフィルターの前で水銀を測れないのかというご質問もいただいた時に、私は、現在の技術では測れませんというお話をさせていただきましたが、ようやくその技術が確立したということでございます。

何が問題であったかということですが、バグフィルターの前の排ガスというのは当然、処理する前の排ガスでございますから、ほこりやちり、そういったものをたくさん含んでおります。従いまして、そういったほこりやちりが水銀計に付着いたしまして、すぐに水銀計が使えなくなってしまうという状況でございました。それを防ぐためには、水銀計の手前にフィルターを付けることになるのですが、フィルターを付けますと、今度は、ほこりやちりも取れるのですが、一緒に水銀も取ってしまうということで、正しい水銀濃度が測れないという状況でございました。

これを解決するために、海外で、新しい水銀計が開発され、それを J F E でレンタルいたしまして、付けてみたところ、非常に効果があるのではないかとということが分かりましたので、今回、J F E エンジニアリングでは国内の水銀計メーカーと共同で、こういった新しい、ほこりやちりに強い水銀計を開発して、やっとその実証実験ができるような段階になったということでございます。

これを受けまして、ふじみ衛生組合の 1 号炉を使用して実証実験をしたいとのご相談をいただきましたので、このたび、ふじみ衛生組合の 1 号炉で実証実験ができるという見込みとなりました。そこで、本日は地元協議会の皆様にご報告をさせていただきました。

今後の予定ですが、2 月 15 日にふじみ衛生組合議会がございまして、議会にも報告させていただいた後、春ぐらいから実証実験に入りたいと思っております。

実証実験で確認することですが、1 点目としては、性能の確認です。どのくらい水銀が除去できるのかということで、その除去能力を確認し

たいと思っています。もう一つは、耐久性です。やはりすぐにだめになってしまうのでは仕方がないということで、耐久性についても確認したいと思います。そして、もう1点は、やはりフィルターの取り替え等メンテナンスのコストがかかります。コストの確認も行いたいと思っています。

この実証実験を行い、夏頃、中間報告をいただきたいとJFEに申し上げたところでございます。この中間報告をいただきまして、実際に導入するかどうか検討をいたしまして、費用対効果があるということになれば、平成30年度の予算に反映させてまいりたいと考えているところでございます。

会長 : 何か質問ございますか。

C委員。

C委員 : このレポートが1月15日になっていますね。2か月の実績ということですが、その後、1年経っていますが、実績があるかどうかということですね。これはもうこれで終わっているのですか、1つ、それについて。

会長 : どうぞ。

I委員 : この2か月の実績と申しますのは、先程申し上げましたとおり、海外製品をレンタルして行っております。従って、レンタル期間終了後、それはもう返してしまいましたので、その後はこの海外製品では行っておりません。

C委員 : 分かりました。

会長 : どうぞ。

C委員 : もう一つ、今までの測定器が、0.2ミリグラムでスケールオーバーしてしましまして測定できませんでしたね。今度のはどれだけかということと、今の器械は数マイクログラムから200マイクログラムぐらいまでですかね。今度の器械は測定範囲がどうかということを知りたい。それはなぜかという、1つは、年間を通じて一体、水銀がごみにどれぐらい入っているのかということを知りたいのです。それからもう一つは、昔、さんざん議論した、バグフィルターをはじめとする処理装置で一体どのぐらい取れるのかという。言われたように、これを実験するという事なので、それはそれでいいのですけれども、そういうことで測定範囲が大きな問題になるのではないかと、その辺にひっかかっています。

I委員 : バグフィルターの前に付ける水銀計の測定範囲ですが、今後JFEと詰めていきたいと思っております。技術的にはかなり広範囲の測定範囲がとれるのではないかと、思っています。この図には描いてありませんが、実際に煙突のところにも既存の水銀計は残しますから、そういう面では入り口の水銀濃度と出口の水銀濃度を比較することが可能でございます。従いまして、今、C委員が言われたとおり、除去率も計算はできる

のではないかと考えているところでございます。

C委員 : 測定精度は。測定範囲は。

I委員 : 精度につきましても、おそらく煙突についている水銀計とほぼ同程度の精度だと思います。

C委員 : ということは、200マイクログラム以上は測れそうもないということでしょうかね。

I委員 : 範囲については、200マイクログラム以上も測れないと意味がありませんので、もっと上まで測れるような形で今後、話し合いを進めていきたいと思っています。

会長 : ほかにございますか。

D委員、どうぞ。

D委員 : 確認ですが、この図面の下の方ですね。前の方には煙突のところに水銀分析計が付いておりましたけど、今のお話では、下の方でも煙突のところに水銀分析計が付いていて、実際に水銀がほとんど除去されたという結果判定が分かると、こういう仕組みでございませうか。

I委員 : その通りでございます。たまたまJFEのホームページをそのままコピーしたので、下の図には煙突のところに水銀分析計は付いていませんけれども、実際、ふじみ衛生組合の場合には、煙突のところに水銀分析計は付いていますので、その既存の水銀計に、新しい水銀計をバグフィルターの前に追加して付けるということで比較をしたいと思っております。

会長 : よろしいですか。

ほかにありますか。

D委員。

D委員 : あともう1点、これはあまり知識のない質問で申しわけありませんが。水銀の除去の効果、活性炭で処理というのは大丈夫なのでしょうか。活性炭だけで。

会長 : I委員。

I委員 : 今の焼却炉の排ガスであれば、やはり活性炭が一番効果あると考えております。

会長 : ほかにありますか。大丈夫ですか。

これ、2炉とも付けたほうが正確なデータはとれると思うのですが、いかがでしょう。

I委員 : 今回はあくまでも実証実験ということでございまして、とりあえずは1号炉に付けるというお話が来ております。ですので、実際に1号炉で非常に性能がよろしいということであれば、先程言ったとおり、平成30年度の予算におきまして、1号炉、2号炉共付けたいと考えております。

会長 : 分かりました。

それでは、次に移らせていただきます。次は、平成28年度ごみ処理相

互支援結果について。事務局より報告です。お願いします。

事務局 : このページ差し替えをお願いします。34ページでございます。違っている部分は、表の一番下の部分のふじみ衛生組合の日付の部分です。最初お配りした方は12月9日から12月16日となっておりますが、正しくは6月2日から6月14日の間違いでございます。申し訳ございませんでした。

この相互支援の目的でございますが、施設整備の期間中、ごみの全量処理が難しいために、武蔵野市とふじみ衛生組合、互いに時期をずらして600トンずつ支援をし合うということを平成25年度から行っておりまして、今年で4回目です。おおむね毎年600トン。ただ、実際にぴったり同じ量というわけにはいかないのですが、約600トンになっております。

今年の違いとしては、ふじみ衛生組合は、5月と6月、2回合わせて約601トン持って行ったわけですが、武蔵野からは599.62トン、同じく約600トンですが、3回に分かれております。これは武蔵野市が新施設を立ち上げる関係で、年末に3回目を持ってきたためです。総量は変わっておりません。

それからもう1点、平成29年度の相互支援の調整でございますが、武蔵野市が4月から新施設を本稼働いたしますので、まだ日程調整まで手が回っておりません。後日の地元協議会の中で報告させていただければと考えております。

会長 : 何か質問あります。よろしいですか。

C委員。

C委員 : 新しい施設になっても、こういう支援体制は続くのでしょうか。

会長 : I委員。

I委員 : ふじみ衛生組合、武蔵野市にしましても、やはり年に一、二回は全炉停止をしまして法定点検を行うという時期がございます。従いまして、その時期については一切焼却ができませんので、そのタイミングで、お互いに600トンの範囲内でやりとりをするということは続くだろうと考えております。

会長 : ほかにありますか。よろしいですか。

それでは、次に移らせていただきます。協議事項、平成29年度地元協議会スケジュールについて、事務局よりお願いします。

事務局 : 資料35ページでございます。今年度と同様、3か月に1回ずつの会議を予想しています。4月、7月、10月、それから1月ということ。6月には施設見学会を昨年と同様、行っていきたくと思います。

ただ、10月、11月をご覧いただくと分かると思いますが、下に書いてありますが、今回の第4期の任期が11月3日で満了となります。従いまして、9月あるいは10月に第5期の公募委員の募集を行いまして、主に

新しい委員を対象とする勉強会もあわせて設定したいと考えております。

なお、参考までに、安全衛生専門委員会についても6月12日で任期満了となります。従いまして、現在、地元協議会の皆さん、正・副会長と、それから三鷹市、調布市それぞれ一人ずつ出ていただいております。次回の地元協議会でどなたを推薦いただくかご検討をお願いしたいと考えています。

会長 : こういう案でよろしいでしょうか。

続きまして、第5回ふじみまつりについて、I委員、お願いします。

I委員 : ふじみまつりですが、非常に好評を得ておりますので、平成29年度につきましても、また11月ごろ実施したいと考えておりますので、皆様のご意見をお伺いしたいと思っております。

また、先ほど会長からもお話がございましたとおり、ぜひ、実行委員になりたいという方は実行委員になっていただきたいと思っております。もし、今日の今日ということで、なかなかすぐに実行委員というわけにもいかないでしょうから、今後、皆様方の方にこちらからお邪魔をして、ぜひ実行委員をお願いしますと伺いますので、その節にはぜひご協力をお願いいたします。

5回という節目ですので、平成29年度については、今までにない企画も取り入れられればよいと考えているところでござい

会長 : 実行委員ももう何回もやっているのです、できましたらほかの方にやっていただいたほうが新しい形でできるのかなと。そうですね、A委員。

A委員 : すみません、よろしくお願いいたします。

会長 : 次は平成29年6月予定の施設見学候補地について、事務局よりお願いします。

事務局 : 36ページからの資料になります。今回、3つ候補を挙げております。

最初に、さいたま市桜環境センター。これは昨年、候補に挙がりましたが、稼働実績がまだほとんどなかったということで川越市資源化センター、環境プラザに行きました。

桜環境センターは日量の処理規模は380トン、ふじみ衛生組合が288トンですから、かなり大き目です。ただ、人口をご覧いただくと、さいたま市は人口128万人、ふじみ衛生組合、三鷹市、調布市合わせまして41万5,000人ですから、約3倍の人口です。このため、さいたま市は焼却場が4か所ございます。日量1,430トンの処理能力を4か所合計で持っております。桜環境センターも非常に新しく大きい施設です。

それから、38ページをご覧いただくと、関連の施設、研修センター、プール、厨房等があります。レストランも併設されているそうです。あとはフローシートをご覧いただきたいと思えます。

41ページ。新しい施設でございます、ふじみのエコウェルズ。同じく

埼玉県ふじみ野市でございます。ここはふじみ野市と三芳町でやっておりますが、一部事務組合ではなく、ふじみ野市単独で運営しまして、三芳町が委託という形で負担金を支払っております。ここは逆に非常に小規模な感じで、人口が15万1,800人、ふじみ衛生組合の3分の1程度になっております。

申し訳ございません。差し替えの訂正箇所ですが、41ページ、調布市の人口11万5,000の単位のところでございます。

施設は非常に新しく、ただ、規模としては、1日当たり142トンの処理能力ということと、10月稼働でございますので、比較的、稼働実績がまだ少ないということです。施設については、ご覧のとおり、最新のものが並んでおりますので、参考になる部分はあるかと思えます。

45ページ。武蔵野市クリーンセンターです。これが本年4月から稼働します。すぐお隣でございますので、稼働実績は比較的短いのですが、ちょうど稼働2か月ですので、見学可能ではないかということで載せさせていただきました。武蔵野市は人口約14万4,000人で、単独ですので規模としてはかなり小さ目でございます。

ここで特徴としては、ガス・コジェネレーションシステムということで、ガスタービン、ジェットエンジンみたいなもので、これを使って電気を起こしているという新しい施設でございます。これは、詳しいところは、東京ガスのホームページから説明文をコピーしてございますので、47ページをご覧くださいいただければと思えます。

それから、48ページ。先ほどお話の出た、ふじみ衛生組合のリサイクルセンターでございます。これも以前から見学というお声がございますので、今回挙げさせていただきました。以上、3か所でございます。

大体、距離的には埼玉県の施設、1時間ほどで行けます。そうすると2か所ということもできなくはないのかなと思えますが、それも踏まえてご意見をいただければと思えます。

会長 : ありがとうございます。

組み合わせとして、さいたま市とふじみ野市の組み合わせも可能ということでしょうか。

事務局 : できなくはないと思いますが、ただ問題は、先方で午前・午後、配分の調整が生じると思えます。

会長 : 分かりました。

ということで、皆様にお諮りしたいと思いますが、誰か声を発していただかないと、なかなか決まりませんので、お願いします。

写真で見ても、これが行きたいなというものもなかなか決まらないもので、どうですか、B委員。

B委員 : 事務局に一任でいいのではないですか。いろいろ見てきたので最新の施設をお任せして。

- 会長 : 一任ですか。
例えば、さいたま市か、ふじみ野市を見て、その行きでも帰りでも武蔵野を見るとか、そういう形でもいいですか。
「はい、一任」と言う声あり。
- 会長 : はい。分かりました。ありがとうございます。
C委員、どうぞ。
- C委員 : 一任いいのですけれども、リサイクルセンターは、ぜひ別にやってほしいですね。これはぜひ見たい。
- 会長 : 分かりました。リサイクルは別にとのお話で承りました。どこかでやります。
ということで、事務局に一任でお願いします。
- 事務局 : それでは、交渉させていただきます。
時期としては6月下旬ぐらいになるかと思います。武蔵野市と組み合わせると2か所ということで、4月の地元協議会の時に日程案を出ささせていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。
- 会長 : そのときに参加の返事をいただければと思います。よろしくお願ひします。
次回日程です。4月は、清原管理者が、第50回の節目の地元協議会です。出席させていただきたいということでございますので、管理者が出席される日というのは限定的になりますので、4月25日の火曜日はいかがでしょうか。
「異議なし」という声あり。
ありがとうございます。今回は4月25日、火曜日、同じ6時半から、この会議室ということでございます。よろしくお願ひします。
その他、何かありますでしょうか。
どうぞ。
- N委員 : 前もお聞きしたと思うのですけれども、この地元協議会とか見学会の開催はやっぱり平日なのでしょう。
結局、私ももう随分長くやっていますし、本当はいろいろな方にやっていただきたいのですね、若い方に。ただ、平日のこの時間というのは、仕事を持っている方は不可能です。永久に敬老会から脱却できないのですね。若い人をもっと引き込めば、いろいろな全く違う意見も出てきますし。自治会でもそういう話をしたのですが、結局、平日だったら男性は無理ということで、完全に仕事を引退した方なら可能性はあるねというお答えしかないのですね。
ですから、私もやっとな今回、自治会長を退任できたのですけれども、いろいろな行政の行事は全部平日です。ですから、若い人にはもう来るなということですね、はっきり言って。せめて地元協議会を土曜日とかに開催。将来的に、直ぐでなくても構いませんが、そうすると委員もい

ろいろな方にやっていただけると思うので、その辺をご検討いただけたらうれしいのですが。

会長 : 事務局、いかがでしょうか。

事務局 : これは可能性があると思いますけれども、ご希望の段階で、毎回というのは施設の使用予定等も調整しながらということになります。事務局としては特に問題はないと思いますが、事務局単独ではなく全体で調整していきながら決めていくようになると思います。

会長 : どうぞ。

b 副会長 : ふじみ衛生組合は、三鷹市、調布市両市の部長、組合の委員全員管理職ですので、そういった意味では、時間外勤務手当は発生しませんので、人件費ゼロで、開催することは可能です。

今、委員言われたように、なかなか平日ですと若い方が参加できないのは実際、現状だと思います。現役の人が仕事をしていると、都内から帰ってくるにも、普通に帰ってきてても早くて7時半から8時頃と思っていますので、そこでこの6時半からの会議に出るのは実際、物理的に不可能だということになりますので、そういった改善ができるかどうか、できるだけ世代交代もしながら、この施設が存続する限り地元協議会については続けていきますので、永続的に世代交代しながら、この地元協議会が続けられるような方策、今言われたような、休日に開催することも含めて、検討させていただきたいと思います。

会長 : 私もその辺は必要だと思います。私も仕事を持っているので。

ほかに何かございますか。

ないようですので本日の地元協議会、これにて終了させていただきます。どうもお疲れさまでした。ありがとうございました

—19時30分散会—